

DCAT(災害介護派遣チーム) **(Disaster Care Assistance Team)** について

◆DCATとは？

[目的] 災害時介護派遣チームは、災害時、要援護者の避難生活以降予想される生活困難から命を守る事を目的とします。

[活動] ○福祉避難所や介護保険事業所等でケアを行う。
○生活環境に配慮した対応や支援の実施
○福祉ニーズの把握と情報発信 等

東日本大震災時、災害介護派遣関係者の声から

岩手県に一番最初に支援に入ったのは、GH協石川県のチーム。とても嬉しかったし、ありがたかった。

受け入れる都道府県のコーディネーターの役割が重要

災害が発生してから、体制づくりが行われたが、常時準備と研修が行なっておく必要があるね。

DCAT が全国に組織される必要があるね！



災害は全国どこで起きるかわかりません。災害時、認知症の人にとってケアは、ライフラインに等しいものです。そのライフラインを確立しておくことが大切です。又、被災地ではたらく職員は、利用者への「支援者」であると同時に、そこで生活する「被災者」である二面性を持ちます。被災地で働く仲間を支援する意味でも、DCAT を組織化しておくことが求められます。

[DCAT チーム構成イメージ]

- 一チームの派遣日数は1～2週間
- 1チーム5名～7名で、ソーシャルワーカー、介護福祉士、看護師（それぞれの組織特性で職種は違ってくる）等で構成

[DCAT チームの組織例]

- 同一法人内で組織
- 近隣法人で1～2名ずつ参加して組織
- 日本認知症グループホーム協会支部で組織
- 日本認知症グループホーム協会本部に個人で登録

**今後、DCAT 登録を、法人・事業所単位、及び
都道府県支部ごとに呼びかけていきます。
ぜひ登録をお願い致します。**